ねんきんだより Pensions News

公的年金源泉徴収票が送られます

来年１月中旬から下旬にかけて、老齢や退職による年金を受けているかたに、「公的年金等の源泉徴収票」が送られます。この源泉徴収票には、令和５年中に受け取った年金の額、源泉徴収された税金の額、控除の詳細が記載されています。（介護保険料などが年金から特別徴収されている場合の源泉徴収税額は、支払われた年金額から介護保険料額などを控除した後の金額で計算されています）年金の他に収入がある場合、所得税の確定申告手続きをする際にこの源泉徴収票が必要になります。

１月末日までに源泉徴収票が届かなかったり紛失した場合、ねんきんネットやねんきんダイヤルで再交付の手続きができます。また、近くの年金事務所でも再交付を受け付けています。本人が来訪する場合は、本人確認書類と年金証書などを持参してください。その他のかたが来訪する場合は、交付申請者のマイナンバーや基礎年金番号などを確認できる書類、委任状、依頼されたかたの本人確認書類を持参してください。なお、遺族年金、障害年金には税金がかからず、これらを受給しているかたには源泉徴収票は送られません。

▦ねんきんダイヤル　0570-05-1165

問合せ　太田年金事務所　▦49－3716

消費トラブルにご注意！

インターネット通販トラブル 代引き配達で偽物に注意！

【事例】

SNSを見ていたところ、化粧品の広告が表示された。公式通販サイトの広告だと思い、リンク先の通販サイトから化粧品を５千円で代引き（代金引換）配達で注文した。

代金を支払い、荷物を開封すると、商品が偽物だった。販売業者の情報はメールアドレスしか分からない。宅配業者には「荷物を開封した後は受け取り拒否にはできない。返金できない」と言われた。送り状の依頼主の欄には、発送代行業者の連絡先が記載されており、販売業者の情報は不明である。

（６０歳代 女性）

【ひとこと助言】

偽物が届く通販サイトには、大幅に値引きされている、日本語の字体や文章表現がおかしい、代引き配達しか選択できない、送り状の依頼人が販売業者の名称とは異なっているなどの特徴がよく見られます。少しでも怪しいと感じたら取引は控えましょう。

後で商品が偽物であることが判明しても、宅配業者からの返金は難しいです。宅配業者から商品を受け取る前に、送り状に記載されている依頼人の情報を確認し、注文した販売業者と異なる場合は、代金を支払わず、受け取りを拒否しましょう。

トラブルが生じた場合は、消費生活センターへご相談ください。

相談は消費生活センターまで　▦82－7830（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
12月３日（日）	みづほクリニック ２０－１１２２	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３		富士クリニック ペインクリニック ２０－１９７１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
12月10日（日）	竹越医院 ８４－３１３７	長谷川クリニック ８０－３３１１		慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
12月17日（日）	湯沢医院 ６２－２２０９	小西医院 ８６－２２６１		川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
12月24日（日）	新井内科クリニック ２０－１２２０	神尾内科医院 ７５－１２８８		澤田皮膚外科 ７０－７７０３	－
12月30日（土）	ごが内科楡クリニック ７３－７５８７	まりレディスクリニック ７６－７７７５	多々良診療所 ７２－３０６０	新橋病院 ７５－３０１１	－
12月31日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	加藤医院 ８９－１０３１	公立館林厚生病院※ ７６－８０３１	小曽根整形外科 ７２－７７０７	－
１月１日（祝）	たなか医院 ６２－２８８１	須田内科医院 ６３－１４１４	公立館林厚生病院※ ７６－８０３１	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
１月２日（火）	おうら病院 ８８－５６７８	福田ペインクリニック ８４－１２３３	公立館林厚生病院※ ７６－８０３１	館林医院 ７４－２１１２	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）　▦７２－３１４０ ◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ▦７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分） 群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　▦０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外） ◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く） ▦７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　▦７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。
●感染症の流行状況により、電話がつながりにくい場合や診察に時間を要する場合がございます。あらかじめご了承ください。
●公立館林厚生病院の予約時間は、午前８時30分～11時、午後１時30分～２時30分です。（要電話予約）

Face フェイス

棒高跳びは、ジャンプというよりフライ

ポールのしなりで跳ぶ瞬間 自分だけの自由な世界に入る

中嶋龍護さん

なかじま　りゅうご　15歳
朝日野在住

今なにか欲しいものはありますかと聞いたところ「高校の合格がほしいです」と、苦しい受験生の本音を聞かせてくれました。

標準記録を超え全国大会出場

今年10月に、愛媛県で行われたジュニアオリンピック、アンダー16陸上競技大会に、板倉中３年の中嶋さんが出場しました。種目は、棒高跳び。事前の大会で、アンダー16の標準記録である４メートルをクリアしての出場で、全国でも22人の選手しか出場できません。

棒高跳びという競技

棒高跳びを始めたきっかけは、小学校の頃から所属していた加須市にある陸上のジュニアクラブで、中学１年生の時にコーチから「やってみないか」と誘われたことがきっかけでした。

中嶋さんによると、棒高跳びはジャンプするというよりフライ。棒を突き刺し踏み切り、ポールのしなりで体が押し上げられる瞬間、まさに飛んでいるような感覚で、自分だけの自由な世界に入り込んだような、なんともいえない感覚になるそうです。

競技はとても繊細で、１本飛んでバーを超えられなければ、コーチが撮影した映像を確認し、自分のコンディションに合わせてポール自体を変えたり、ポールを持つ位置をわずかにずらしたり、踏切るためのスタート位置を、数センチ変えるなど、細かな修正を行いながら、競技に臨むことが必要だそうです。

将来の夢

普段、板中の部活では筋力、体力をアップするための基礎トレーニングを行い、週に２回ある陸上クラブの練習で棒高跳びの技術向上を図っています。

休日は丸太をのこぎりで引いたり、プラモデルを作るのが好きだということです。プログラミングや機械の機構などにも興味があり、将来はものづくりに携わりたいと考えているそうです。いつか、自分で設計した家を大自然の中に建ててみたい。そんな夢も教えてくれました。

レポーター
広報編集委員
小林千矢里（こばやしちやり）